

歴史と文教の城下町

広報

たかなべ

2020

3

No.423

見つけた！おだいきさまとおひなさま



KYUSHU OLLE TRAIL 九州オルレ

「宮崎・小丸川コース」オープン!

高鍋町と木城町は、両町に根付く「百済王族伝説」を活用した観光推進を目的に、九州オルレのコース認定に向けルートを設定を行ってきました。

11月19日に社団法人済州（チェジュ）オルレの認定審査を受け、両町をまたぐ「宮崎・小丸川コース」として、1月15日に九州オルレのコースとして認定されました。

九州オルレとは

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味を持っています。自然豊かな済州島で山歩きする人が増え、トレッキングコースをオルレと名付けてから徐々に有名になりました。

オルレの魅力は、海岸や山などの自然を五感で感じ、自分なりにゆっくりとコースを楽しみながら歩くところにあります。

九州オルレは済州オルレの姉妹版で、現在22コースがあります。

百済王族伝説

西暦660年、唐・新羅の連合軍と戦い、敗れた百済王族は日本に亡命しました。王族の乗る2舟は洋上ではぐれ、禰嘉（ていか）王と次男・華智（かち）王子の舟は日向市の金ヶ浜に、禰嘉王の妻・之伎野（しぎの）妃と長男・福智（ふくち）王子の船は高鍋町の蚊口浜に漂着しました。

その後、4人は安住の地を求め離れ離れに暮らすことになり、それぞれの地で地域住民から慕われ、禰嘉王は美郷町の神門神社、之伎野妃は高鍋町の大年神社、福智王子は木城町の比木神社、華智王子は日向市の伊佐賀神社に祀られています。

高鍋町と木城町では、福智王子が之伎野妃と年に一度の対面を行っていたことに由来する「大年下り」が現在でも毎年11月に行われ、深い親子の絆を繋ぐ伝承が息づいています。高鍋町の「鳴野」という地名は、之伎野妃が住んでいたことに由来するものだとされています。

オープニング記念イベント

今回のオープンにあたり、2月22日にオープニング記念イベントを開催しました。両町だけでなく県内外から約200人が参加し、自然あふれるコースや地元食材などを使った振る舞いを楽しみました。



▲「カンセ」と呼ばれる目印。馬の頭が進行方向を示すとともに、ビューポイントも兼ねています。



▲オープニングセレモニーの様子



▲コースを楽しそうに歩く参加者たち



▲青と赤を結んだリボンがコースの目印です。リボンをたどり、ゴールを目指します。

コース

木城町の比木神社から城山公園、木城温泉館湯ららを経て、高鍋町の持田古墳群、高鍋大師、大年神社を通り鳴野浜をゴールとするルートです。

全行程は約14.3キロで、およそ4～5.5時間かかります。



みちはたlog



みちはたのホームページ

高鍋町内の企業に特化した求人サイト「みちはた」に掲載されている企業の求人を定期的に紹介します。町内の求人を探している方や、求人を募集したい町内企業のご利用をお待ちしています。



▲株式会社岩切建設の皆さん

株式会社岩切建設 戸建ての新築、リフォームをメインに行う建設会社。

職種：施工管理（建築）

業務内容は、戸建て新築、リフォームの施工管理です。施工管理は、工程・予算・品質・安全の管理が主で、工事自体と現場全体を見渡すことが必要となります。ただし、いきなり全てを任せられることはなく、少しずつできることを増やしていきます。

現在、建設産業全体で労働環境の改善に力を入れており、岩切建設も例外ではありません。社長の岩切さんは「お客様の満足だけでなく、従業員の満足度も同じく重要です。工事によっては大変なこともあります。大事な社員に無茶をさせないよう心がけています」と話してくれました。

やりがいは？と聞かれ、施工管理の東山さんは「引き渡しの時に関係者全員に褒めてもらえること」、営業、設計担当の鶴田さんは「更地、竹やぶから自分で調査して家が建って、そこに家族が住み代々続いていくこと」と語ってくれました。

2020

春季キャンプ in 高鍋



今年も高鍋に春の訪れを告げるキャンプシーズンが到来しました。
大学生と社会人の2チームがMASUDAスタジアム（高鍋町営野球場）を中心に春季キャンプを行いました。

焼きたてギョーザとハーフ牛の焼き肉の振る舞い！



▲おいしい振る舞いは選手の皆さんに大好評でした！（名古屋商科大学の皆さん）



▲愛知大学野球連盟2部に所属。高鍋でのキャンプは今年で7回目。（名古屋商科大学の皆さん）



▲本町で2回目のキャンプを行った同チームは、監督・コーチ・マネージャーが宮崎県出身。（MHP Sの皆さん）

チーム名	本拠地	時期
名古屋商科大学	愛知	2月 3日～ 7日
三菱日立パワーシステムズ (MHP S)	神奈川	2月 18日～ 28日

協賛団体の皆さま、ありがとうございました。

児湯農業協同組合・高鍋商工会議所・高鍋町観光協会・有限会社藤原牧場・宮崎県農協果汁株式会社・南九州ココロラボトリング株式会社・株式会社児湯青果地方卸売市場（順不同）

キャンプへの意気込みをうかがいました！

暖かい気候の中で体と心を鍛え技術も磨き、1部復帰を目指して春季リーグに挑みたいです。

（名古屋商科大学・上川恭宏監督）

守備、打撃、ピッチングをやり込むキャンプにしたい。試合に自信を持って臨めるようにしっかり準備していきたいです。（三菱日立パワーシステムズ・後藤隆之監督）

高

鍋西中学校女子卓球部が九州大会出場

高鍋西中学校女子卓球部が第20回全九州卓球選手権大会の団体戦に出場することが決定し、2月14日に役場へ報告に訪れました。

部長の平松理沙さんは「普段の練習の成果を発揮でき、九州大会まで勝ち進められた。九州大会でもお互いに励まし合い一戦一戦に臨みたい」と話してくれました。

大会は2月22日に福岡県北九州市で開催され、惜しくも予選敗退でしたが、顧問の金丸美穂講師は「この経験を生かして、次の大会では更に上を目指したい」と話してくれました。

今後の更なるご活躍を祈念しております。



▲高鍋西中学校女子卓球部の皆さん

高

鍋高校ボート部の部員たちが九州地区大会で入賞

11月に行われた第31回全国高等学校選抜ボート大会九州地区予選にて、男子ダブルスカルの部で塩谷龍ノ介くん、友草海太くんが2位、女子シングルスカルの部で岩切園樹さんが3位の成績を修めました。

ダブルスカルでペアを組む塩谷くんと友草くんは、オフの日も一緒に自主練習をしています。塩谷くんは「日々の練習では基本やペアのコンビネーションを大事にしている」と話し、友草くんは「トレーニングはもちろん、生活態度など色々な事を変えて頑張ってきた」と話してくれました。

岩切さんは「シングルでは自分次第で結果が決まるので、とにかく練習から自分を追い込んだ」と話してくれました。

3月20日から静岡県浜松市で開催予定だった全国高等学校選抜ボート大会全国大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため残念ながら中止となりましたが、来年度の大会に向けて更に練習を続けていきます。

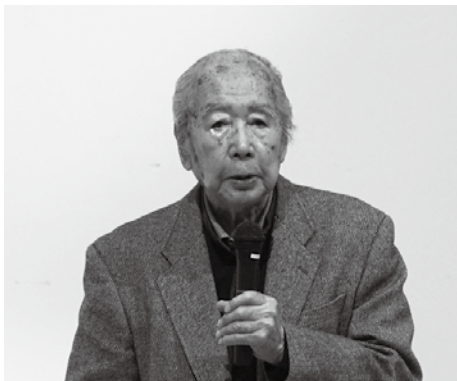


▲(左から)副顧問の持原奈美子教諭、友草海太くん、塩谷龍ノ介くん、岩切園樹さん、顧問の柴田友輔教諭

● ● ● 秋月種茂公没後200年シンポジウム・秋月三名君藩校フォーラム ● ● ●

1月26日、町美術館で「秋月種茂公没後200年シンポジウム・秋月三名君藩校フォーラム高鍋大会～秋月種茂公・上杉鷹山公・黒田長舒（ながのぶ）公 三名君の仁政と文教、歴史を活かしたまちづくり～」が開催され、町内外から約280名が参加しました。このシンポジウムは3年連続で開催されており、一昨年は鈴木馬左也、昨年は三好退蔵や石井十次らを輩出した高鍋藩藩校明倫堂をテーマに行われました。

作家・童門冬二氏による特別講演や、県文書センター人材育成アドバイザー・永井哲雄氏による基調講演、多彩なパネリストたちによるパネルディスカッションが行われ、大会の最後には、「歴史と文教の城下町宣言」を発表しました。



▲童門冬二氏による特別講演。童門冬二氏は「教育重視の改革や民が平和に暮らせる環境作りは民への愛情によるもので、秋月家は藩祖からヒューマンイズムの持ち主であったと思う。高鍋は平和づくりの条件のほぼ全てを持っている。今後も磨きをかけて、『世界の高鍋』と言われるようPRしてもらいたい」と話されました。



▲多彩なパネリストたちによるパネルディスカッション。三名君の偉業を振り返り、今後のまちづくりについて考えました。

「歴史と文教の城下町」宣言

(前略) この令和という新しい時代の幕開けに、米沢市・朝倉市・高鍋町がさらに連携や交流を強固なものとし、歴史を活かしたまちづくりへの歩みを共に進めていくことをお誓いし、本フォーラムの「歴史と文教の城下町」宣言とします。

オ リンピック聖火ランナーに選出



東京2020オリンピックの聖火ランナーとして、本町在住の黒水健太くんが選ばれました。黒水君は、4月26日に本町のルートを走る予定です。

生まれた時から障がいがあった黒水君は、今まで多くの人々に出会い、支えられてきました。走れるようになった今の元気な姿をお世話になった人々に届けるためにランナーに挑戦したい、という強い思いから応募に至りました。

お姉さん2人がバレーをしていたことから、小さい頃からスポーツ観戦が大好きだった黒水君。中でも相撲が大好きで、毎年学校で行われる陸奥部屋みちのくの力士たちとの交流を心待ちにしているそうです。

黒水くんは「笑顔で走り切りたい」と話してくれました。



▲聖火ランナーに選ばれた黒水健太くん

生 涯学習推進大会・自治公民館大会

2月23日、たかしんホール（高鍋町中央公民館）で第29回高鍋町生涯学習推進大会・第46回高鍋町自治公民館大会が開催されました。この大会は、町民一人ひとりの「生涯学習」に対する意識の高揚を図り、「歴史と文教の城下町 たかなべ～対話でつながる豊かで美しいまちづくり～」の実現を目指すため、毎年開催されています。



▲伊藤真波さんによるバイオリン演奏



▲(左から)表彰された黒木勲さん、荒川秀一さん、塩田義幸さん

大会では、NPO法人野の花館と蚊口公民館利用者の集いの会による事例発表や、自治公民館活動功労者への表彰、元パラリンピック水泳日本代表の伊藤真波さんによる講演と義手でのバイオリン演奏が行われました。

伊藤真波さんの講演「あきらめない心～前向きに生きることで必ず道は開ける～」では、困難に前向きに立ち向かい、日々周りの人々と共に懸命に生きる伊藤さんのお話に、参加者は感銘を受けていました。

また、同会場では2月22日、23日の2日間で高鍋町中央公民館教室発表会を開催し、教室生の作品展示並びに芸能発表を行いました。